

各諸室(エリア)の要求水準

【別表1】

Table with 30 columns and multiple rows. Columns include: 棟, 部門, 室名, (a)一般事項 (基本要求部面積, 基本設計面積, 天井高, 自然採光・自然通風, 床荷重, 清掃の有無, 床仕上げ, 壁仕上げ, 天井仕上げ), (b)建案仕上, (c)廊仕様・移動間仕切 (出入口扉の形状, 気密性, 移動間仕切), (d)備品・機器区分 (本事業で用意する備品類: 施設整備で用意, 備品調達で用意, 維持管理運営で用意, (別途)), (e)電気設備 (※防災設備は法令に従い設置すること) (電源設備: 照明・コンセントVA/m, コンセント位置・仕様, 室内照度LX, 照明設備: 人感センサー, 調光, 電話設備: 電話アウトレット, 情報設備: 情報アウトレット, 共有設備: TV接続端子, 放送: 放送, 個別放送, 監視カメラ), (f)空調設備 (空調設備: 特設なき限り設計温度: 冷房: 26°C 5.0%, 暖房: 22°C 4.0%, 加温あり, 空調方式: 1:セパレート, 2:マルチ, 3:空調機, 換気設備: 換気種別: 1:1種, 2:2種, 3:3種), (g)給排水衛生設備 (給水, 給湯, 排水: 一般, 厨房, 都市ガス), 備考

各諸室(エリア)の要求水準

Table with columns for building type (棟), department (部門), room name (室名), and various technical specifications categorized into general items (a), construction (b), furniture/equipment (c), items/equipment types (d), electrical (e), air conditioning (f), and plumbing (g). Includes specific room details like 'イベントスペース', 'メディアスペース', '展示スペース', etc., and technical requirements for lighting, sound, and climate control.



## 【別表1】各室（エリア）の要求水準 凡例

### <表記内容の説明>

#### (a) 一般事項

- 1 要求部屋面積 : 数値記載なきものは事業者提案による。一印は基本設計時に部屋があるが、要求水準書上で削除された部屋を示す。
- 2 基本設計部屋面積 : 基本設計時点の部屋面積を示す。
- 3 天井高 : 表記数値は室内の平均天井高の最低限度を示す。納まり上表記数値を下回る場合は、部分的に上がり天井を設ける等工夫を行うこと。ただし、必要設備・備品の配置を妨げない計画とする。なお「-」は直天井を示す。
- 4 自然採光  
自然通風 : 要否を示す。特に要望のある場合は○印とする。「提案」とある場合は提案による。
- 5 床荷重 : A:事務室一般 B:一般倉庫 C:図書館開架 D:集密書架等 重荷重対応の室  
その他適宜事業者提案により設備機器重量を見込むものとする。
- 8 清掃の有無 : 各室毎に定期清掃業務を要する場合は○印とする。日常清掃の範囲は提案による。

#### (b) 建築仕上

各室（エリア）の用途に応じた適切な仕上げ材を選定すること。下記仕上げ材料を参考とし計画すること。

ただし、事業者の提案により、下記仕上げと同等以上も可とする。

- 1 床 : 床の仕上げを示す。巾木については、メンテナンス性・意匠性をふまえ提案すること。bの下地・仕上げは防塵塗料を施すこと。  
a(ビニル床シート)、b(OAフロア+タイルカーペット(帯電防止))、c(タイル)、d(木製フローリング)  
e(畳敷き) f(防塵塗料) 提案 : 提案による
- 2 壁 : 壁の仕上げを示す。  
ア(石膏ボード+塗装)、イ(腰壁 : 仕上は子供の衝突を考慮した怪我防止に配慮する。腰壁上 : 石膏ボード+塗装)  
ウ(化粧珪酸カルシウム板)、エ(不燃木仕上げ等、佐原通りの意匠提案による)、オ(和室壁 ; 提案による)  
カ(ガラスウールガラスクロス押さえt50貼)  
提案 : 維持管理に適した仕上げとし、事業者提案による。
- 3 天井 : 天井の仕上げを示す。  
あ(岩綿吸音板(標準))、い(化粧石膏ボード)、う(化粧珪酸カルシウム板)  
え(耐水性のある仕上げとし、提案による)、お(和室にふさわしい天井 ; 提案による)  
か(ガラスウールガラスクロス押さえt50貼)  
提案 : 維持管理に適した仕上げとし、事業者提案による。

(c) 扉仕様

1 主要出入口扉の形状：扉の形状を示す。

特記なき限り親子開きW1250×H2100程度)を標準とし、事業者の提案による。

特にピアノや山車等の大型備品の搬出入が想定される室は、その経路について必要な開口を確保すること。

引戸(片引き戸W1200×H2100程度とし、バリアフリーに配慮すること)

ホール扉(両開き扉：必要な開口幅及び防音性能を確保すること)

・ロングヒンジ・コンシールドドアクローザ ・ 召し合わせエアタイト

・三方枠エアタイト・下部エアタイト 等を設け床段差がなく、ホール扉としての意匠性を確保すること。

点検扉(全面開口とし、メンテナンスのしやすさに配慮すること)

自動扉(両引き自動ドアとし、必要な開口幅、高さを確保すること)

2 気密性：扉の気密性を示す。

AT(エアタイト)、SAT(セミエアタイト)

3 移動間仕切：○は移動間仕切りを設置する

(d) 備品・機器類区分

記載されたもののほか、その他の備品等については別表2を参照すること。

(e) 電気設備

1 電源設備：照明・コンセント用電源は表記の容量を確保すると共に、コンセントは適切な場所に設置する。

2 照明設備：室内照度は、表記数値の範囲内を目安とし、室の用途に応じて照明方法等適切な計画とすること。

調光設備については、要望のある○印については調光を行うこと。その他の室は提案による。

3 電話設備：電話コンセントを要する場合は○印で示す。必要個数は参考図を参照すること。

4 情報設備：情報コンセントを要する場合は○印で示す。必要個数は参考図を参照すること。

5 共聴設備：TV接続端子を要する場合は○印で示す。必要個数は参考図を参照すること。

6 監視カメラ：○印の室及びエレベータ内に監視カメラを設置する。設置位置は提案による。

(e) 空気調和設備

1 空調：要否：○印は空調を必要とする部屋を示す。

：詳細は記載内容による。

ただし、大空間で法規制の掛からない場所は、快適温湿度を目標値とする。

2 換気：要否：1、2、3は機械換気を必要とする部屋を示す。

換気回数：機械換気で最低限確保すべき換気量を示し、法定換気量を考慮した風量とすること。

(f) 給排水衛生設備

1 給水：使用箇所をそれぞれ○印とする。

2 給湯：○印は給湯を必要とする部屋を示す。

3 排水：一般（生活排水）、厨房排水（厨房排水）の生じる箇所をそれぞれ○印とする。

4 都市ガス：○印は都市ガスを必要とする部屋を示す。